



暑くなったら手遅れです！ ～早めのエアコン試運転で事故と熱中症を防ぎましょう～

1. 事故の発生状況

2020年度から2024年度の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県でエアコンによる事故^{※2}は合計40件ありました。

(1) 県別および年度別事故発生件数（表1）

表1 エアコンの県別および年度別事故発生件数（2020～2024年度）（単位：件）

事故発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2020年	5		1	1				1	8
（内数）火災	(5)		(1)	(1)				(0)	(7)
2021年	3	1	2	2		1			9
（内数）火災	(3)	(1)	(2)	(2)		(1)			(9)
2022年	4	1	2	2	2				11
（内数）火災	(3)	(1)	(1)	(2)	(2)				(9)
2023年	3	1				1		1	6
（内数）火災	(2)	(1)				(1)		(1)	(5)
2024年	4			1				1	6
（内数）火災	(4)			(1)				(1)	(6)
合計	19	3	5	6	2	2	0	3	40
（内数）火災	(17)	(3)	(4)	(6)	(2)	(2)	(0)	(2)	(36)

※1: 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。また、本資料では、調査の結果、外部からの延焼が原因であり明らかに製品事故ではないと最終判断された情報も含みます。

※2: ルームエアコン（室外機も含む）。ただし、本資料では窓用エアコンは除きます。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 エアコンの県別および被害状況別事故発生件数（2020～2024年度）^{※3}（単位：件）

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	1		1					2
	重傷	1							1
	軽傷								0
物的被害	拡大被害	13	3	5	4	2	1	1	29
	製品破損	3			1		1	1	6
被害なし・不明	1							1	2
合計	19	3	5	6	2	2	0	3	40
合計（火災事故）	(17)	(3)	(4)	(6)	(2)	(2)	(0)	(2)	(36)

※3: 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 事故事例

(1) エアコンの事例：2021年10月（福岡県、年代不明、性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン室外機と室内機をつなぐ配管を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

エアコン室外機に出火の痕跡は認められないことから、配管と外壁の間に着火させた蚊取り線香2枚が収められた携帯ホルダーを挟み込んでいたため、受熱により配管が焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

(2) エアコンの事例：2022年6月（熊本県、60歳代、男性、製品破損）

【事故の内容】

エアコン室外機を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

エアコン室外機に小動物が侵入して基板上の異極端子間を短絡させたため、基板上のダイオードブリッジが故障して異常発熱したことで基板が焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28

独立行政法人製品評価技術基盤機構

九州支所 担当者 清水

電話:092-551-1315 FAX:092-551-1329